

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ハニーバジャー・ブラックパール</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.570</b>	△RG <b>0.041</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：ハニーバジャー・ブラックパール**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 番

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

4in1/2

**比較対照ボール：ハニーバジャー・テール**

フレアーの幅  インチ

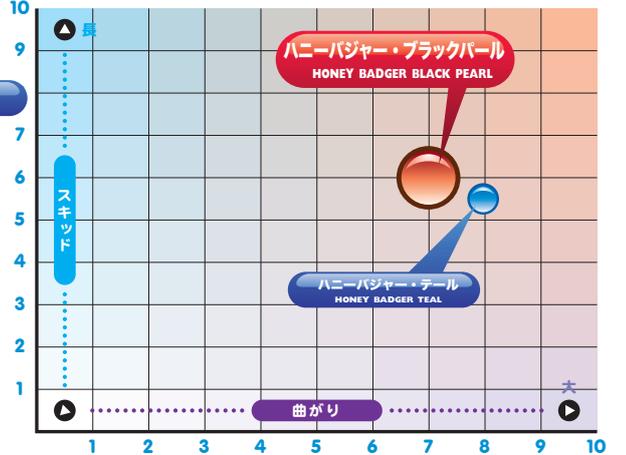
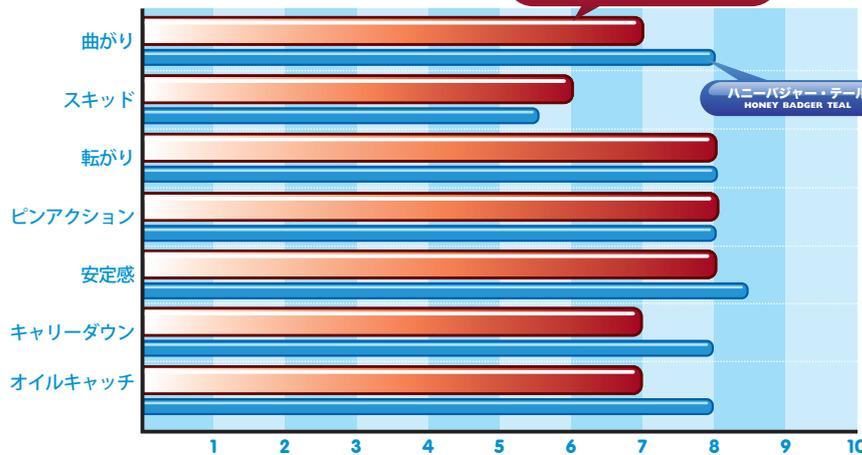
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 番

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

4in1/2



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

4月におこなわれたダリアパヨンクプロの縦断ツアーでもHony Badger及びHony Badger Tealは注目の的であり、多くの方にHony Badgerの魅力を知って頂くきっかけになったのではないかと思います。

今回のHony Badger Black PearlはHony Badger Teal同様日本独自のインターナショナル製品で、オリジナルHony Badgerとスペックは同等のS71 Pearl ReactiveとGrapnel Asymmetric Coreの組み合わせはそのまま、配色でパフォーマンスの調整を行っています。

Hony Badgerの最大の魅力は何といってもバックエンドのキレでしょう。コンディションがミディアムからやや削れてきた時に外目にラインを向けながら戻せるパフォーマンス。

バックエンドの角度がシャープにまた大きく出るためにしっかりと10本倒せるイメージが取れる入射角。Hony Badgerを使った方はこの角度の深さに魅力を感じ、ややインサイドよりのラインになった時に好んで使用する方が多いように思えます。

今回はHony Badger Tealと比較投球を行いました。曲がり始めの感じはTealが早めのHookに入るのに対し、Black Pearlはそこを越えてスキッドし、先でシャープさをなお協調します。同じ素材であってもGoldかTealなのかBlack Pearlなのかはパフォーマンスの感じ方は違い、Black Pearlはやや走りが強調されるもののバックエンドのグリップ力は強く感じ、しっかりと向きが変わって曲がるという印象を感じました。ポウラーにとってこの領域のスペックは非常に重要で、この領域よりも上のボールが現在主流で数多く発売されています。ラインの変更とともにボールチェンジもコンディションの対応に必要な不可欠な要素ですが、その中で手前のオイルがブレークダウンしてきたときに攻めきるボールは非常に重要です。その時にこのHony Badger Black Pearlが重要な役目をはたしてくれるでしょう。

### 特記事項